

(案)



未来を支える 江戸川こどもプラン こども版

発行年月：

発 行：江戸川区子ども家庭部 子育て支援課

〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1

電 話：03-5662-0659

江戸川こどもプランってなんだろう？

江戸川区には、約9万8千500人※の子どもがいます。そして、一人ひとりが安心して、幸せに育つ権利をもっています。もちろんあなたもその一人です。

「江戸川こどもプラン」は、こどもたちみんながその権利を守られながら、元気で幸せにくらしていける社会をめざして、江戸川区がこれからすすめていくことをまとめたものです。



めざすもの①

ちいさなこどもが
幸せにくらせる

赤ちゃんや、小学校に入る前のこどもが、安全に楽しく生活できるようにします。

めざすもの②

すべてのこどもが
のびのびと育つ

江戸川区にくらしているこどもみんなが安心してのびのびと育つていけるようにします。

めざすもの③

わか若い人の
ひとのぞみがかなう

進学したい、仕事につきたい、結こんしたい…、それぞれの希望がかなえられるように応援します。

めざすもの④

なやみや不安を
りかい理解してもらえる

こどもが、つらいことや悲しい気持ちをかかえたままくらすことがないようにします。

めざすもの⑤

いのち
子どもの命や
あんぜんまも
安全を守る

ぎやくたい、はんざい、災害などから、こどもを守ります。

めざすもの⑥

しゃかいぜんたい
社会全体で
そだこどもを育てる

こどもを育てている人を、しゃかいぜんたい社会全体で協力しながらおうえん応援します。

これから

江戸川区では

いま
未来も
今も

ひとり一人ひとりのこどもにとって一番よいことは何か、いちばんにこどもの声を聞きながら考へて、いろいろなことをすすめていきます。

そのため、アンケートでみんなの声をききました。

詳しくは次のページで

江戸川区が
これから
進めていくこと

みんながいろいろな体験 たいけん や遊びができるようになります

とも 友だちと遊びに行ける
しせつ 施設や公園が増えるといい

ちゅうがく 中学2年生

ちゅうがくせい 中学生や高校生が遊べる
こうこうせい あそぶ
ようやうなばしょ あるといい

ちゅうがく なんせい 中学3年生

きんじょ お年寄りといっしょに
ときよ 気がるに食事をしてみたい

しょうがく 小学6年生

まちおこしイベントを
わかものちゅうしん 若者中心で企画してみたい

こうこう なんせい 高校3年生



じゅう あそ ばしょ もと こえ おお
自由に遊べる場所を求める声が多くあります。
そして、みんなそれぞれやってみたいことがある
おも と思います。こどもがいろいろなことに挑戦でき
るといいですね。



だから…
えど がわく 江戸川区では
これから

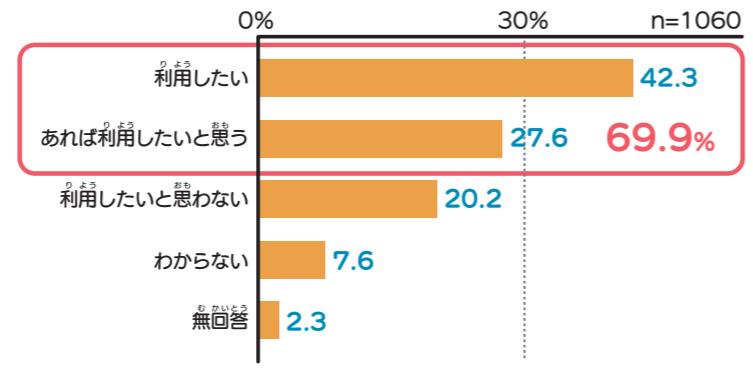
あそ 遊んだり たいけん 体验したり
いろいろなチャレンジが
できるようになります



多くのこどもが、自由に遊べる場所を使いたい

Q こどもたちが自由に遊べる場所があれば利用したいと思いませんか

アンケートでどのような場所を利用したいか聞いた結果、「こどもたちが自由に遊べる場所」を利用したい人が、69.9%でした。



- のびのび遊べる公園を増やす
- 地域の人と一緒にいろいろな体験ができる「すくすくスクール」
- たのまなたいけん みらいかん 楽しく学び、体験できる「子ども未来館」
- かいがい たいけん しえん 海外での体験を支援する「青少年の翼」



…など

すくすくスクール

江戸川区が
これから
進めていくこと

じぶん まな そだ かんきょう 自分らしく学び育つ 環境づくりをすすめます

学校の授業はがんばっている。
でも、自分のやりたい
勉強をする時間もほしい
小学5年生

無料で、友だちみんなで
勉強できる場所がほしい
中学3年生

美術教室が
少ないから
増やしてほしい
中学3年生

職場体験学習や、
地域での経験が
たくさんできるといい
中学3年生

ひとつひとつ
校則をつくった理由
を教えてほしい
中学3年生

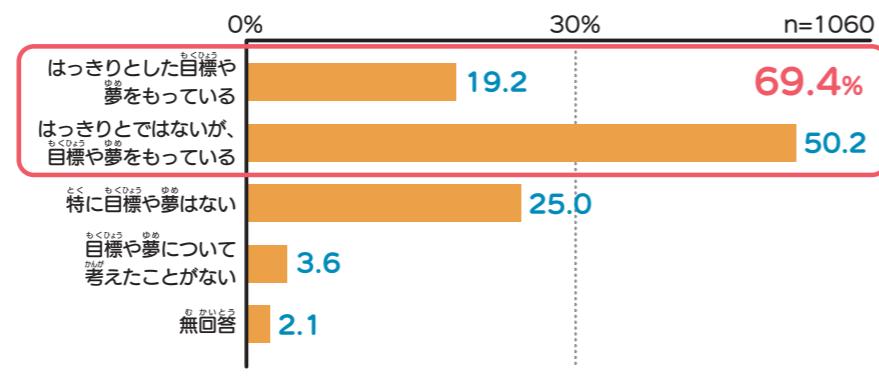
こどもの声



多くの子どもが、将来の目標や夢をもっている

Q 自分の将来について、目標や夢をもっていますか

アンケートでみんなに聞いた結果、
将来の目標や夢をもっている人は
ひとりもっている人は
69.4%でした。



多くの人に、将来の目標や夢があり、いろいろな学習や体験の希望があります。また、さまざまな学びを通して夢や目標を見つけることもあります。そんな気持ちを実現できる、機会や場所がいっぱいあるといいですね。



だから…
江戸川区では
これから

まな
学びたいとい
みんなの気持ちを
おうえん
応援します



- ひとりひとりの学習状況にあった学力支援
「放課後補習教室」
- さまざまな仕事を体験する
「チャレンジ・ザ・ドリーム」
- さまざまな本を通じて学ぶ「読書科」
- 自分のペースで気がるに勉強できる
「1655Cafe」



江戸川区が
これから
進めていくこと

こどもがのびのび 育つまちをつくります



ずっと、自然が多くて
住みやすいまちであってほしい

高校2年生

高校生でも
交流がもてる場所がほしい

高校3年生

バス乗り場や駅に
外国語の表示もつけてあげてほしい

小学5年生

こまっているこどもがいたら、
おとなから「どうしたの？」とか
声をかけてほしい

小学5年生

こどもの声

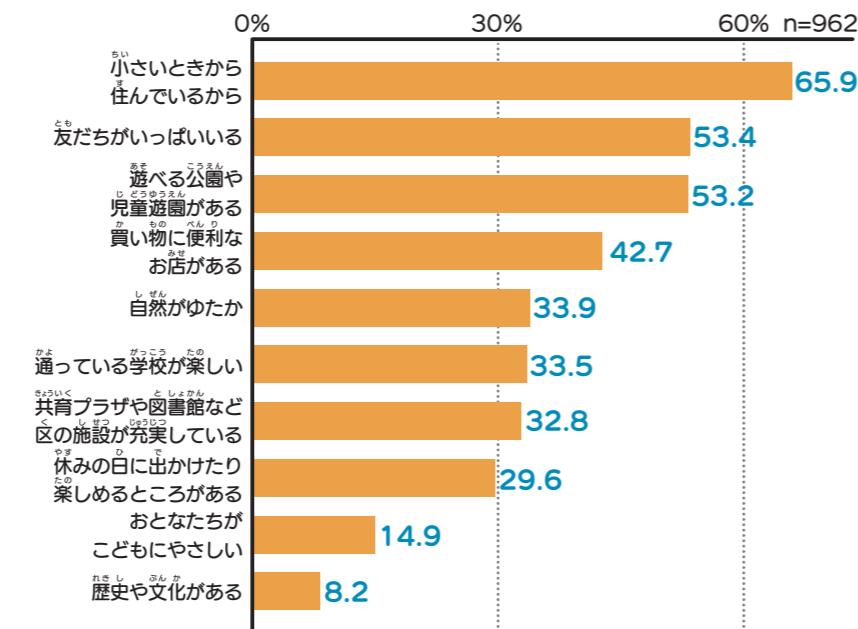


江戸川区を好きな理由は、さまざま



Q 江戸川区を好きな理由はなんですか

別のしつもんでは「江戸川区が好き」と答えた人は90.7%、その人たちの「好きな理由」はさまざまです。感じることは一人ひとりでちがうのですね。右のグラフで少なかったところがよくなってしまけば、江戸川区を好きな人もさらにふえて、のびのび育つこどもたちでまちがいっぱいになるかもしれません。



小学校5年生～18歳へのアンケートより

江戸川区を好きな理由はさまざま、こうしてほしいという声もさまざま。また、年齢や性別、国籍や障害のある、なしなど、一人ひとりにちがいがあります。こどもがのびのびとくらせる、成長できるまちになるためには、一人ひとりによりそった支援や、おとな・まわりの人の理解・協力も大事です。

だから…

江戸川区では

これから

一人ひとりのこどもが
のびのびと
育つことのできる
社会をつくります



こんにちは
Hello
你好
নমস্তে
안녕하세요

中高生の安心できる居場所「共育プラザ」

それぞれの個性や状況のちがいを理解するため
の教育

だれでも相談・交流ができる「なごみの家」

外国人のこどもへの言葉・生活支援



など

共育プラザ

江戸川区が
これから
進めていくこと

なやみや不安をおとな もいっしょに考えます

弟がなやんでいるみたい
だけど話す場所がない

高校2年生

私の性格を無理に
理解しようとするのは
やめて。逆につらい

小学6年生

相談にのってくれる
場所をつくるほしい

中学1年生

友だちにイライラを
ぶつけてしまいます。
どうすればいいですか

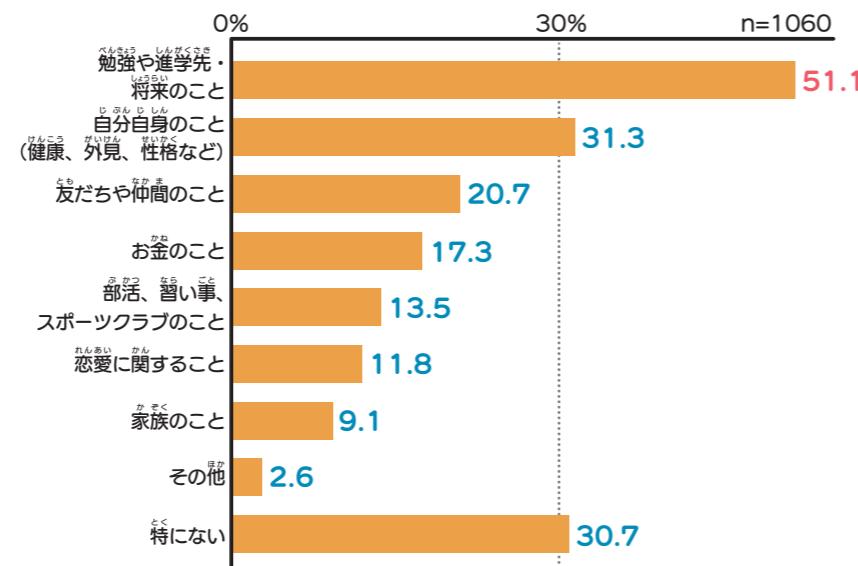
中学1年生

多くのこどもが、なやみをもっている



なやんでいることやこまっていることはありますか

約70%の人はなやみをもっています。今、なやんでいることやこまっていることは「勉強や進学先・将来のこと」が多く、自分自身のこと、友だちや仲間のこと、お金のことが続いている。



なやみや不安はだれにでもあります。学校のこと、勉強のこと、友だちのこと、家族のこと…。自分でかかえこまず、気がるに相談できるといいですね。



だから…
江戸川区では
これから

なやみや不安が
なくなるよう
相談にのったり
いっしょに考えます

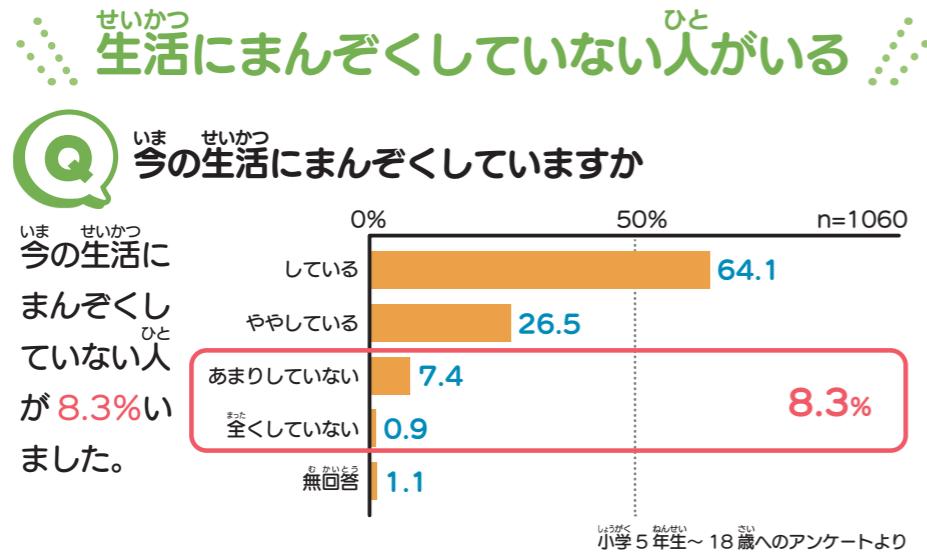


- こどもが、なやみやこまりごとを気がるに相談できる場所や支援の充実
「ユースサポート」「学校サポート教室」
- こどもの意見を聞きながら、いっしょにかいつけ方法を考えていくしくみづくり
「子どもの権利ほっとライン」「子どもの権利擁護委員」
- こどもが言い出せないなやみにも、まわりのおとなが早く気づくようにする…など



江戸川区が
これから
進めていくこと

みんなで力を合わせて 子どもを支えあいます



みんなが、幸せを感じながら生活できることになると
いいですよね。

だから…
江戸川区では
これから

子どもだけではなく、子どもをとりまく
すべての人の今と未来を支えます。

生まれる前から、赤ちゃんやお父さん・
お母さんを支えることは、子どもの幸
せにつながるはじめの一歩です。

生まれる前から
赤ちゃんやその親を支えます

- 出産前から相談にのる
- 赤ちゃんがいる家に行ってアドバイスをする …など

小学校に入る前の
小さなこどもを支えます

- 保育園や幼稚園を充実させる
- 親子の愛情や結びつきがしっかりとできるように応援
する …など

小さいとき、のびのびと育つことができ
るかどうかは、将来の幸せに大きくか
わると言われています。

進学やしゅうしょく、結こんなど、若い
人の望みをかなえることは、江戸川区の
未来を支えることにもつながります。

若い人の望みや幸せの実現を
支えます

- 若い人が社会で活躍できるようにする
- 結こんしたい人へのサポート …など

子どもみんなが健やかに
育つように支えます

- 病気や障害のある子どもや家庭への支援
- お金にならず過ごすための支援 …など

病気や障害のある、なしなどにかかる
子どもの権利があります。

子どもがつらい思いをせず
安全に育つようにします

- 身体や心が痛い思いをしないようにみんなを守る
- つらい思いをしている子どもに手をさしのべる …など

社会全体で子どもの権利を守り
育していくようにします

- 子どもをまんなかにおいて考える社会をつくる
- 子育てをしている人を応援する …など

すべての区民が力を合わせ、まち全体
で子どもの育ちを支えるという江戸川
区のルールがあるよ！

次のページへ
江戸川区には
子どもの権利を守るために
決まりがあります。

こどもの権利を守る、江戸川区の決まり

赤ちゃんから高校生まで、すべてのこどもは、おとなと同じように一人の人間としての権利をもっています。江戸川区では、令和3年7月に、こどもの権利を守っていくための決まり、「江戸川区子どもの権利条例」が誕生しました。

江戸川区子どもの権利条例 前文

子どもは、生まれたときから、人種や性別、障害や病気のある、なしなどにかかわらず、一人の人間として大切にされるかけがえのない存在です。一人ひとりがさまざまな個性や能力を持ち、誰もが大きな夢を抱き、未来への可能性が開かれています。

すべての子どもは、保護者や多くのおとの愛情のもとで、安心して育ち、遊び、学び、暮らしていくことができます。のために、おとなは、お互いに力を合わせ、子ども自身が成長する力を認めるだけでなく、子どもの思いや意見をしっかりと受け止め、一緒に考え、子どもの育ちを支えていきます。

子どもは、さまざまな活動の場に参加し、感じたことや、考えたことを自由に伝え、発表することができます。

一人ひとりの子どもの思いや意見が大切にされるとともに、より良い社会をつくるため、子どももまた地域社会をつくる一員として、自ら学び、まわりの人と協力していくことが大切です。お互いの権利を大切にしあうまちは、すべての人にとって夢や希望にあふれるまちになります。

江戸川区は、児童の権利に関する条約、**「ともに生きるまちを目指す条例」**の考え方とともに、すべての区民が力を合わせ、まち全体で子どもの育ちを支え、すべての子どもにとって最もよいことが実現できるまちづくりを進めることを宣言し、**この条例**を定めます。

【前文】

こどもの権利についての基本的な考え方を示して、こどもにとって最もよいことが実現できるまちづくりを進めるという江戸川区の宣言です。

- ① 成長していくために、遊んだり休息したりすることも権利の一つとして認められています。
- ② おとなは子どもの意見をしっかりと受け止め、こどもにとって最もよいことを一緒に考えてください。
- ③ こどもは自分の思いや意見を自由に発表できます。

- ④ ともだちとの関係も小さな社会。意見がちがっていて当たり前。それぞれの意見が大切にされることで、誰もが安心して自分らしくくらせるまちの実現につながります。
- ⑤ ともに生きるまちを目指す条例

⑥ この条例に示されている大切な権利は4つ



江戸川区子どもの権利条例第3条2項

- 自分が大切でかけがえのない存在であると思える

- 平和や安全が守られる

- 成長のための支援を受けることができる

1
じぶん
自分が
自分らしく
成長できる

2
いのん
意見を表して
考えてもらう
ことができる

- どんな差別も受けない
- どんな虐待も受けない
- どんないじめも受けない
- 安心して生きていくことができる

3
さべつ
差別を
受けない

4
もつと
最もよいことを
考えてもらう
ことができる

- 自由に意見を表すことができる

- 思いや意見を受け止められる

- 年齢や発達に応じてしっかりと考えてもらうことができる

- 自分に関するあらゆることについて、自分にとって最もよいことを考えてもらうことができる

江戸川区では、この条例で宣言したように、こどもにとって最もよいことを第一に考え、実行していきます。